

# 平成27年度

## 石神第二小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 杉 千尋

### 1 学校図書館の概要

#### 学校の紹介

昨年度末に耐震工事の第1期が終了し、4月より大半の学年が元の教室での学習を開始した。学校図書館も元の場所へ戻る一方で、夏より第2期工事が開始となり、引き続き仮設校舎で学習する学年もある。

平成27年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援	合計
41名	42名	32名	49名	46名	55名	7名	272名

(平成27年12月末時点)

学校派遣日数 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 稲垣みゆき先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 10,162冊

学校図書館受入冊数(3月末時点) 634冊

うち 市費購入冊数及び金額 271冊(433,953円)

うち 杉並文庫購入冊数 189冊

うち PTA図書費購入冊数 35冊

うち 寄贈資料冊数 139冊

### 2 平成27年度の課題及び目標

#### 【課題】

- ①耐震工事に伴う引っ越しおよび整理
- ②昭和年度受入図書の更新
- ③第一図書室(開架閲覧室)における正確な分類番号および著者記号の付与
- ④貸出方法および返却方法の周知徹底

#### 【目標】

- ①耐震工事に伴う引っ越しを、開架閲覧室となる第一図書室は4月末までに完了し、5月より児童への個人貸出および授業利用を開始できるようにする。また、閉架書庫となる第二図書室は第2期工事開始の夏までに完了とする。
- ②再度蔵書の確認を行い、昭和年度受け入れ図書について引き続き除籍・廃棄の作業を進める。同時にそれらに代わる図書の選書・受入を行う。
- ③正確な分類番号および著者記号の付与・ラベルの変更について、9類文学・昔話絵本に関して今年度中にすべて完了し、その他の分類の作業へ移行できるようにする。
- ④年度当初に利用オリエンテーションを実施し、図書の貸出方法および返却方法を周知する。また、図書委員へ利用方法の周知を徹底し、図書支援員が不在の場合でも利用方法が分からずに困る児童の支援が出来るようにする。

### 3 活動の方針

読書環境を整え、自分から進んで読書を楽しむ児童を育てる。

具体的な手立てとして次のことを実践する。

- ①年間の貸出冊数目標を低学年40冊(前期20冊、後期20冊)、中・高学年30冊(前期

- 15冊、後期15冊)とし、館内掲示等で周知する。
- ②10月上旬(前期)と3月上旬(後期)に上記目標達成児童へ読書賞を送り、賞状の授与を行う。
- ③図書委員会の児童とも協力し、新着図書の案内やお勧めの本の紹介等を行う。
- ④学級担任等と協力し、積極的な学校図書館の利用促進を促すため、読み聞かせ・ブックトーク等を実施する。

#### 学校図書館年間活動計画(スケジュール)

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当教諭との打合せ</li> <li>耐震工事に伴う引っ越し</li> <li>利用オリエンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期組織編成、計画設定</li> <li>貸出当番の手順確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回学校図書館支援会議</li> <li>図書の借用開始</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人貸出および授業利用開始</li> <li>耐震工事に伴う引っ越し整理</li> <li>杉並文庫選書</li> <li>国語科発展授業(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出当番開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回学校図書館支援会議</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震工事に伴う引っ越し整理</li> <li>杉並文庫選書</li> <li>国語科発展授業(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年への読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学(2年生活科)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季長期貸出の周知</li> <li>市図書予算選書打ち合わせ</li> <li>耐震工事に伴う引っ越し整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期未返却者確認、督促</li> <li>夏季長期貸出</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和受入年度図書の確認、更新</li> <li>市図書予算選書</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>第3回学校図書館支援会議</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>杉並文庫受入</li> <li>市図書予算選書</li> <li>国語科発展授業(4年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季長期貸出未返却者督促</li> <li>前期個人貸出冊数調査</li> <li>前期活動反省</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書月間計画設定</li> <li>分類ラベル修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期組織編成、計画設定</li> <li>貸出当番の手順確認</li> <li>貸出当番開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回学校図書館支援会議</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書月間企画実施</li> <li>分類ラベル修正</li> <li>国語科発展授業(5年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書月間企画実施、周知</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入図書受入</li> <li>冬季長期貸出の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期未返却者確認、督促</li> <li>冬季長期貸出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5回学校図書館支援会議</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類ラベル修正</li> <li>国語科発展授業(6年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季長期貸出未返却者督促</li> <li>低学年への読み聞かせ</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人貸出終了</li> <li>分類ラベル修正</li> <li>国語科発展授業(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期未返却者確認、督促</li> <li>後期個人貸出冊数調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第6回学校図書館支援会議</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書点検</li> <li>不明本搜索</li> <li>次年度計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書点検</li> <li>不明本搜索</li> <li>未返却者督促</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7回学校図書館支援会議</li> </ul>

## 4 年間活動内容

### 1年間の活動記録

#### 4月

耐震工事第1期が終了し、学校図書館も元の場所へ戻って開館することとなった。新たな書架も加わり、図書担当教諭と相談を重ねて館内配置を決定した。(図1、図2)

以前の第一図書室(開架閲覧室)は複数の出入り口があったため、児童の動きが掴みにくく、より有効的な棚配置に迷うことが多々あった。そのため、新図書館では主となる出入口をひとつに絞り、もう一方を通常は教員と貸出当番の児童のみが使用する非常口とした。

また、館内が見渡せるよう第一図書室には低書架を中心に置くこととした。その一方、第二図書室（閉架書庫）は基本的に児童を立ち入らせないため、高書架を中心に配置することとした。

図1 第一図書室（開架閲覧室）新配置

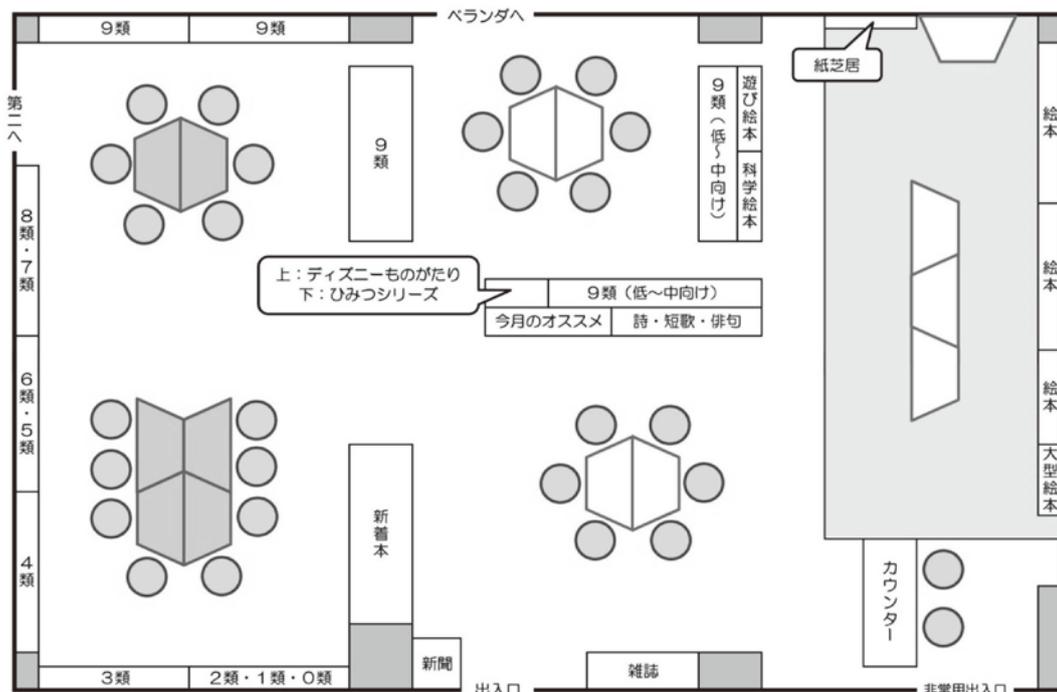
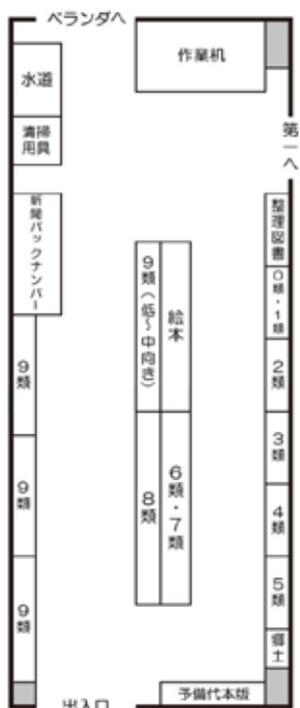


図2 第二図書室（閉架書庫）新配置



時事学習への利活用促進等のため、新聞・雑誌を購入している。雑誌は昨年度の児童の利用の様子から、4月より一部購入タイトルを変更した。

また、引き続き購入する雑誌の中で低学年向けの「小学一年生」「小学二年生」に関しては対象児童が仮設校舎で学習しているため、そちらの特設図書コーナーへ配置することとした。

(写真1、写真2)



写真1 今年度購入の雑誌

写真2

一部は仮設校舎の特設図書コーナーへ配置

## 5月

計画通り、4月末までに学校図書館の引っ越しが完了し、5月より児童への個人貸出および授業での利用を開始することができた。開始前には新たな配置の案内を含めたオリエンテーションを全学年で行った。

また、個人貸出開始に合わせて図書委員の当番も開始となり、意欲的に活動する姿が見られた。(写真3、写真4)



写真3 図書委員会による貸出当番



写真4 5月より授業での利用も開始

今年度も引き続き保護者による図書ボランティアの活動があり、5月より年間を通して書架整理や壁面飾りの作成に協力いただいた。(写真5、写真6、写真7)

また、図書ボランティアの協力で予定よりも早い段階で第二図書室の引っ越しも完了することができた。



写真5 壁面飾り(夏)

写真6 壁面飾り(秋)

写真7 壁面飾り(冬)

## 6月

6月に図書委員会が行った低学年への読み聞かせでは、選書のアドバイスや読み聞かせをする上での注意点などを指導した。(写真8)

今月のオスズのコーナーでは支援員の企画したものだけではなく、図書委員オスズの本も取り上げた。(写真9)



写真8 読み聞かせ練習中の図書委員



写真9 棚上には  
オスズポイントカードを展示

## 7月～8月

担当教員と市図書費の選書打ち合わせを行い、夏季休業に合わせて各学年から希望する本を挙げてもらうこととなった。

蔵書や出版社在庫を確認し、必要に応じて支援員が調整を行った。同時に、昨年度の耐震工事に伴う引っ越しの際に廃棄を行った蔵書を参考にしながら、それらに代わる情報の新しい図書も選書に加えた。

## 9月

5月～6月にかけて選書を行っていた杉並文庫が届き、受入作業を行った。(写真10)

杉並文庫は、今年度より改訂となった国語科教科書掲載図書を中心に選書した。

これにより、それまで主に中央図書館より団体貸出を行う必要のあった図書を学校図書館から速やかに用意できるようになった。



写真10  
国語科教科書掲載図書を中心に選書

## 10月

11月に行う読書月間企画の準備を進めながら、主に9類の正確な分類の付与とラベルの修正を行った。

後期に入り、図書委員会も新たな編成となったことをきっかけにカウンター日誌を導入した。支援員不在時の図書室の様子を貸出当番に記録してもらうことが目的だったが、同時に当番としての責任感を促すことにつながった。

また、下旬には市図書費も届き、読書月間中に児童の利用が開始出来るよう優先的に受入作業を行った。

## 11月

毎年、11月を読書月間に設定して学校図書館の利用を促している。今年度は図書委員会の協力を得ながら読書クイズとダブルカードプレゼントを行った。(写真11)

読書クイズは、特定の本を読まないで答えの分からない問題を図書委員が作成し、正解者へはめくるまで絵柄の分からないワクワクシールをプレゼントした。(写真12)

ダブルカードは、今年度の貸出が終了する2月末まで通常の2倍の冊数まで本を借りることができるもので、後日、読書月間中に5冊以上の本を借りた児童へプレゼントした。



写真11  
今年度の読書月間は読書クイズと  
ダブルカードのプレゼントを実施した



写真12  
読書クイズの問題は図書委員が作成

どちらも今年度が初の試みであったが、特にダブルカードは興味を持ったようで、多くの児童

が読書月間中の貸出冊数目標を5冊以上に設定して学校図書館へ足を運ぶ姿が見られた。

これは数にも明らかで、昨年度の11月個人貸出冊数が492冊だったのに対して、今年度は855冊と大幅に増加した。

なお、読書月間中もっとも本を借りた児童は4年生の18冊で、11月中の開館日数18日と同数であることから毎日足を運んでいた計算になる。

### 12月～1月

年間を通して行った国語科発展授業では、読み聞かせやブックトークの他、昨年度に引き続いて学級担任と支援員のT.T.授業なども行った。

12月は6年生国語科の「ヒロシマの歌」と連動し、戦争と平和をテーマとしたブックトークを行った。(写真13)



写真13 6年生でのブックトーク



写真14

3年生ブックトークで紹介した本の配架場所案内

1月には来年度以降に予定されている国語科研究指定校事業へ向けた支援員活用を提案する意味も込め、図書担当が担任をする3年生の校内授業研究会で科学読み物のブックトークと紹介した本の配架場所案内を行った。(写真14)

先生方の反応はおおむね良好で、資料提供だけでなく、支援員を含めた学校図書館の利活用をしていきたいとの声が多く聞かれた。

### 2月～3月

9類の正確な分類の付与とラベルの修正を行った。また、利用頻度が高い4類の作業も開始した。

2月末には耐震工事による仮設校舎からの引っ越しがあった。高学年児童の協力を得て、昨年度より引き続き設置していた特別図書コーナーの引き上げとそれにとまなう第二図書室の整理を行った。

また、昨年度末の蔵書確認で受入から1年以内の本が多数不明であることが判明したため、今年度は個人貸出を2月末で終了し、図書委員会や図書ボランティアの協力を得て蔵書点検を行うこととした。

図書台帳が不明瞭な年度もあるため、今年度の蔵書点検は学校図書館支援事業が開始となり、台帳の整備が進んだ平成25年度以降を対象として行った。

その結果、昨年度末に不明となっていた本を含む62冊の本の所在が不明となっており、このうち図書委員会での検索や学級担任を通した呼びかけで41冊が発見できた。

## 5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・ 杉並文庫の選書アドバイス (本の分類確認) および発注処理
- ・ 市図書費の選書アドバイス (本の分類確認) および発注処理

## 6 学校図書館利用実績

### (1) 年間貸出冊数

#### ① 個人貸出冊数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	総合計
年間合計	954	1031	1130	922	1257	421	224	5937
一人あたり	23.3	24.5	35.3	18.8	27.3	7.7	32	21.8
昨年度比	116.9%	211.3%	109.5%	103.9%	235.0%	47.3%	158.9%	124.0%

※1 1人1冊1週間の貸出

※2 夏季休業貸出(7月)および冬期休業貸出(12月)は1人3冊の貸出

※3 12月～2月はダブルカード利用で通常の倍まで貸出の児童あり

#### ② 学級文庫貸出冊数

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (1クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	104	104	54	104	104	104	81	655
昨年度比	51.0%	100.0%	26.5%	51.0%	51.0%	51.0%	135.0%	55.3%

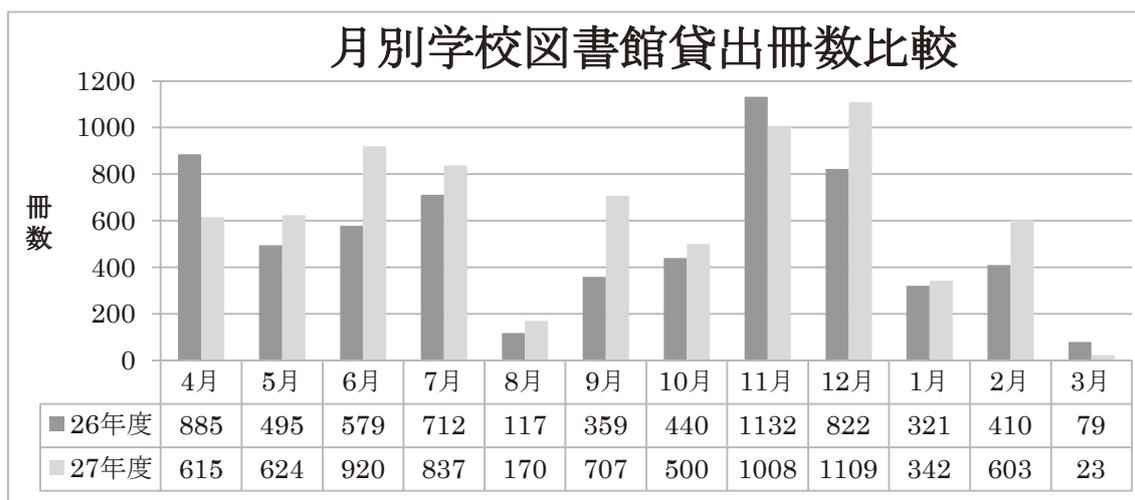
#### ③ 調べ学習等貸出冊数

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (1クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	237	76	55	100	134	123	128	853
昨年度比	764.5%	950.0%	137.5%	120.5%	130.1%	175.7%	191.0%	212.2%

### (2) 学校図書館利用実績比較

昨年度の学校図書館の利用実績と比較すると次の表となる。(表1)

表1 月別貸出冊数比較



全体的に昨年度を上回る利用だった。

一部、昨年度を下回る月もあるが、これは、耐震工事に伴う引っ越し、蔵書点検による休館、および学級文庫の入れ替え回数に影響したものと思われる。

## 7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

### (1) 本年度の成果

- ①第一図書室における耐震工事に伴う引っ越しおよび整理  
目標としていた4月末までに引っ越しと整理を完了することができた。それにより、予定通り5月より個人貸出および授業利用を開始することができた。
- ②昭和年度受け入れ図書の更新  
昨年度、除籍および廃棄を行った蔵書に代わる新しい情報の図書を選書・受入することができた。
- ③第一図書室における9類の正確な分類番号および著者記号の付与・ラベル変更  
9類文学について、第一図書室配架に関しては分類番号・著者記号を付与し、ラベルの変更を完了することができた。
- ④図書委員への貸出および返却方法の周知徹底  
貸出当番を行う図書委員への周知が徹底され始め、図書支援員が補助を行わずとも他児童への支援が行えていた。

### (2) 来年度に向けた課題

- ①第二図書室の整理  
第一図書室の整理は完了したものの、児童が立ち入らない第二図書室の整理は後手に回り、来年度以降の課題として残る。
- ②昭和年度受け入れ図書の更新  
今年度の選書だけでは蔵書が十分でない分類も多々ある。そのため、来年度以降も引き続き除籍および廃棄を行った蔵書に代わる新しい情報の図書を選書・受入することが必要である。
- ③第一図書室配架図書の正確な分類番号および著者記号の付与・ラベル変更  
第一図書室配架の9類文学については完了することができたが、それ以外の分類は未だ完了までには遠い。引き続き行っていくべき課題である。
- ④学級担任等と協力した学校図書館の利用促進および貸出・返却方法の周知徹底  
児童によっては貸出および返却方法を熟知しておらず、その結果、不明となる蔵書が多数確認されることとなった。しかし、貸出・返却方法の徹底は学校図書館へ足を運ぶ習慣の上に成り立つ課題であり、まずは学校図書館の利用促進が求められる。今年度以上に学級担任と協力し、取り組んでいきたい。